

3.確認作業

【玉ねぎ苗の目合わせ】：農作業は曖昧な判断のものが多く、理解できるまでしっかり伝える
「だいたいいいよ」はNG！！



4.作業の難易度を評価

玉ねぎ苗を数える（50本1束にする）作業



スタッフは、「全員ができる正確な作業」を考え、全員に10本ずつ数えてもらい、それらを集めて50本の束にしていた

どうにか
仕事量が増やせないか?!



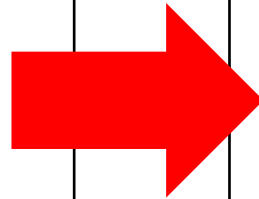
50本数えることができる障害者には、作業台を別にして、直接50本の束にもらうと、全体の作業量が3割増となった

5.姿勢の課題解決①



スタッフから「しゃがめないけど、どうしよう？」
→横向きになって膝をつく（膝パットを使う）

身体に負担が少ない作業姿勢を考慮する



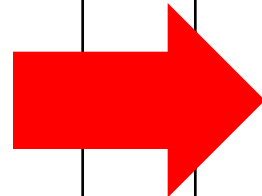
次の日には、片膝を立てた姿勢になっている！

発達障害の方は、体の動かし方が不器用な傾向があるが、経験が少ないだけかもしれない

6. 姿勢の課題解決②



膝パットを移動せず、つつい手を伸ばす



膝パットを装着すれば、姿勢を保てる

7.治具

治具を使うことで、注意されずに『自立した仕事』ができるようになった！！



- ・根っこを揃える ×
- ・平行に入れる ×



テープで印をつける



仕切りを使用

8. 目標の明確化



収穫目標数のクリップを
服に装着し、出来上がった
コンテナにつけることで、
達成感を見える化している

9.枝豆の選別機導入



信頼をおけるA型事業所に
選別機を導入



作業の効率が1.5倍になる！

10.作業場の建設



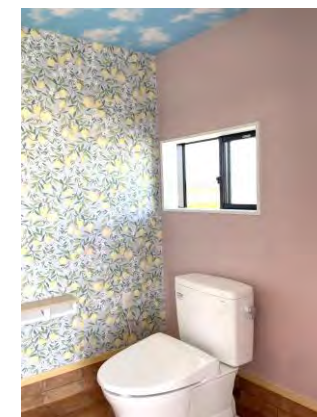
2022.3.30 完成



バリアフリーになり、台車で運べるようになった



休憩室
テーマ：草原



トイレ
テーマ：お花畑

V.石川県の農福連携



1.石川県の農福連携

	マッチング数	特徴
2017年度	9件	石川県障害保健福祉課が農福連携のマッチングを開始
2018年度	30件	「農福連携促進アドバイザー」として農家と福祉の架け橋役を始める
2019年度	50件	農協が農福連携に取り組む (←JA金沢市：ノウフクアワード2022フレッシュ賞)
2020年度	70件	お米農家に広がり、果樹園や加工作業などに拡大
2021年度	90件	新規就農者の繁忙期依頼が増加
2022年度	110件	農業女子に広がり始めた
2023年度	130件	口コミで広がり始めている
2024年度		①全農が、県内全域の農協に周知活動 ②農福連携技術支援者研修 実施

